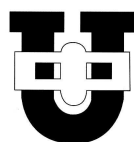


笑顔と誇りをもって、つながる牛中



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《 学校教育目標 》

しなやかにたくましく、

夢に向かって前進し続ける生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和4年度学校通信

第5号

令和4年12月5日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

人権講演会

12月4日～10日の人権週間に先立ち、本校では11月9日（水）に全盲のギタリスト田川ヒロアキ氏をお招きし、「見える音 聞こえる景色」と題してトーク&コンサートを開催しました。

田川氏と言えば、東京2020パラリンピック開会式で、デコトラの上で見たパフォーマンスが記憶に新しいところです。約5,500人の応募者の中からオーディションを経て選ばれた開会式では、「このデコトラから降りたくない」ぐらい最高の気持ちだったそうです。「夢を口にする」と協力者が現れ、一緒に喜ぶと何倍にもなる」というポジティブなお考えの持ち主でした。協力者のお一人がマネージャー（奥様）だったのでしょう。以前はギターを自己表現のアイテムと考えていらしたようですが、様々な経験を経て、今では色々な人に出会えるきっかけを作ってくれるアイテム、色々な縁を作ってくれるアイテムというお考えに変容したそうです。

コンサートでは、ギターを上から持つ独特の奏法で、オリジナルの楽曲や馴染みのアニメソングを次々と演奏し、その爆音、発信力、感動させる力に観客は魅了されました。コンサート後は、生演奏に感化された生徒と田川氏の間で、活発な質疑応答が交わされました。多様性を認め合える集団づくりを標榜する本校にとって、有意義な会となりました。



2年生「職場体験学習」

2年生は11月15日（火）～18日（金）に、職場体験学習に出かけてきました。ご多用にもかかわらず、快く受け入れてくださった市内16事業所の皆様に、心よりお礼申し上げます。2年生では事前にマナー講座、事後にお礼状の執筆も行いました。一連の学習を通して、地域とのつながりを深めるとともに、職業人の心構えや異世代に対する言葉遣いを学ぶことができました。

本校では、総合的な学習の時間に3学年を貫く牛窓学習を行っています。中1で牛窓の歴史や文化を学び、中2で職場体験学習を行い、中3で牛窓の観光や福祉など未来について考えます。旅行・集団宿泊的行事も関連させて行っています。秋祭りでは、唐子踊やだんじり、朝鮮通信使の再現行列が披露されるなど、風待ち・潮待ちの港として栄えた歴史と文化を感じます。これからも牛窓学習を深化させ、郷土を誇りに思い、内外から郷土を支える生徒の育成に努めて参りたいと思います。

県大会出場（相撲、弁論、科学研究）

次の生徒の皆さんが支部大会を勝ち抜き、県大会に見事出場を果たしました。おめでとうございます。本校生徒の活躍をたいへん誇らしく思います。

*岡山県中学校秋季相撲大会（11月10日、倉敷武道館）

個人戦 第3位 夕川 純一朗 さん（1年）

*岡山県中学校弁論大会（11月24日、山陽新聞本社ビル）

研究会賞 床 和歌乃 さん（3年）「被災地からもらったもの」（和気瀬戸内支部最優秀賞）

*岡山県児童生徒科学研究発表会（12月4日、岡山理科大学）

優 秀 賞 八田 そよ さん（2年）「猫舌の私の素朴な疑問2」（和気瀬戸内支部最優秀賞）

3年生「修学旅行（南九州方面）」

3年生は10月20日（木）～22日（土）に、入学後初めての宿泊行事である修学旅行に出かけました。保護者の皆様には、送迎でお世話になりました。全国的に新規感染者数が減少し、全国旅行支援が始まる中、実施に踏み切りました。長旅ではありましたが、新幹線内は空調が整い、ゆったりとしたスペースで快適でした。一方で、訪れる先々で絶えず検温や手指消毒を行い、会話が弾むはずの食事時間も黙食せざるを得ない状況でした。そうした制限下ではありましたが、班員を思いやる場面や戦跡ガイドに褒められる場面もあって、思い出深い3日間となりました。

初日は、知覧特攻平和会館で平和学習を行った後、指宿（湯豊宿が語源）で砂蒸しを体験しました。

平和会館の外観は、南（沖縄）向きで合掌をかたどっています。その傍らには、戦没者を祀る護国神社と、特攻隊員を祀る、宗教に囚われない観音堂が並んで建っています。大隣健二氏は、御母堂様が知覧高等女学校在学中に三角兵舎で隊員の食事や洗濯の世話をしていた経緯で、語り部をされています。機銃を外され、爆装された特攻機は護衛機と編隊を組み、連合軍が上陸作戦を行う沖縄めがけて知覧を飛び立っていきました。開聞岳が見えるうちは、この世に未練を感じていた隊員も、見えなくなると気持ちを切り替えたそうです。護衛機の操縦士の気持ちもいかばかりであったことでしょう。3年生は自身の目と耳で戦争を体験した後、今なお命を粗末にする紛争の絶えない世界に向けて、高らかに平和宣言（群読）を行いました。



2日目は、オペラハウスを彷彿とさせる外観のいおワールドかごしま水族館（「いお」とは魚）でジンベーザメの餌付けやイルカショーを堪能した後、フェリーで桜島（女神サクヤヒメを祀る島）に渡り、JR鹿兒島中央駅に戻ってからは、土産物の品定めに夢中になりました。



フェリーから眺める眺望は、まさに錦江湾（鹿兒島湾）を池、桜島を築山に模した日本庭園に見立てることができます。桜島は、噴火で植物を消失した状態から森ができるまでを観察できるジオパーク（天然の博物館）です。桜島は災害が注目されがちですが、桜島大根、桜島小みかん、椿、温泉、養殖など、たくさんの恵みもあります。



3日目は、日本三大急流の球磨川でラフティングを楽しんだ後、堅固な石垣の熊本城（銀杏城）に登城しました。

いずれも災害の爪痕がくっきりと残っていました。球磨川沿いの肥薩線は水害で線路が銀河鉄道のように宙に浮いてうねり、復旧の目処が立っていません。熊本城は、崩落した石垣に防護ネットやモルタルが施され、枡形の上空には見学通路が渡されていました。

3日間を通じて最もはしゃいだのが、ラフティングでした。インストラクターが言葉巧みに気持ちを引き出し、3年生はコロナ禍のうっ憤を晴らすかのように、ゴムボートをこぎ、球磨川に飛び込み、笑顔が弾けました。日常を忘れ、抑圧から自己を解放できる打って付けの時空でした。

学校評価アンケート（ご依頼）

12月15日（木）～21日（水）の個人懇談（ただし、15日は1・3年生のみ）期間中に、学校評価アンケートにご協力をお願いします。回答方法は、①12月12日（月）に保護者の皆様にメール送信するURL、②懇談控え室のQRコード、③懇談控え室の書面のいずれか3択です。

12月の論語

仁に里るを美しと為す。択んで仁に処らずんば、焉んぞ知たるを得ん。

いつも人を思いやることを一番に考えて行動する、それはとても善いことだ。何を大切にして行動するか、自分で自由に選べるのに、その善いものを選ばないとすれば、知恵のある人、賢い人とは言えないよね。（クマ先生とよむ論語）